



12/21 福祉ボランティア「チーム20」忘年会 平成27年1月初詣 1/10 能美市消防団出初め式 1/11 能美市成人式



1/13 能美市民環境ネットワーク新年会 1/17 能美市赤十字奉仕団新年会 1/17 三道山町女性会新年会



1/18 丸いも応援プロジェクト 南加賀（なんかが）いい座公演 1/24 石川県赤十字災害フォーラム 1/29 寺井ボランティア連絡会 防災講習



2/11 田中策次郎を囲む会 2/14 インター線開通式 2/20 福祉ボランティア「げんきかい」新年会



3/6 寺井小学校環境授業 3/8 東日本大震災募金活動 3/9 辰口・寺井・根上ほからか会研修会



3/13 寺井中学校卒業式 3/18 粟生小学校卒業式 3/22NPO えんがわ周年祭 3/25NPO 志ネット石川 総会

能美市議会議員 田中 策次郎  
〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2  
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209  
Mail 3926@e-mail.jp http://3926jp.net/



能美市議会議員 田中 策次郎 「絆さずな」

平成27年4月第10号



～能美市政報告～

- 平成27年度当初予算 234億5千万円を可決！ (1p)
- 日経グローバル 全国市区「介護・高齢化対応度」調査で「医療・介護」部門で能美市が全国1位!! (1p)
- 3月議会 一般質問 (2p～3p)
  - 特色ある今後の地方創生の取り組みについて
  - 学力・心の教育・生きる力について今後の方針は
  - 特別市民制度を定め第1号登録にウルトラマンを

平成27年度当初予算の基本方針 (一部抜粋)

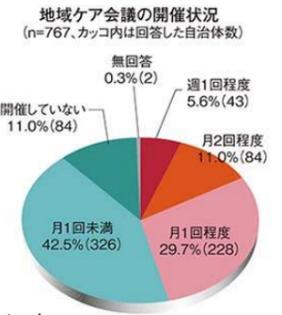
- 北陸新幹線金沢開業後も、その効果を最大限に発揮させる  
観光誘客と活性化を目指す「ウルトラアート事業」「茶碗祭り誘客促進」「新幹線開業観光交流事業」
- 元気で豊かなまちづくり「能美創生」を図る  
あらゆる市民の協力・参画を促し「地方の特性に即した地域課題の解決」「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」などを進める「まち・ひと・しごと創生事業」「能美創生総合戦略策定事業」  
地域の大きな資源である先端大学を支援する「先端大学連携支援事業」  
農業振興に農業に関わる市民・商工業者や学校機関等が連携する「のみ農げんき創造プロジェクト」
- これからの10年20年を見据え、新しい未来への礎を築く  
道路の健全な維持管理のための「道路空洞調査」  
小中学校の体育館・講堂の耐震化対策「学校非構造部耐震補強」  
住民票等の各種証明書がコンビニでも取得できるサービス「個人番号カード有効利用事業」
- 市民福祉の向上  
「乳幼児・児童医療費等助成の窓口無料化」「保育料軽減拡大」  
認知症等の行方不明高齢者の早期発見・保護のための捜索協力「みんなで捜してメール配信事業」

- その他の主な新規事業
- 「移住促進事業」「空き家活用促進事業」「美化センター改良工事」「土地利用計画検討業務」
  - 「道路空洞調査事業」「能美根上インターチェンジ整備事業」「東西幹線道路整備事業」
  - 「乳児消耗品購入助成券支給事業」「子育て情報サポート事業」「出産子育て応援事業」
  - 「介護保険低所得者保険料軽減事業」「地域商品券支援助成」「加賀九谷焼展」「辰口中学校講堂建設」
  - 「学校教育支援地域本部事業」「寺井地区公民館施設整備事業」「こくそう里山公園地盤調査」

全国市区「介護・高齢化対応度」調査で「医療・介護」部門で能美市が全国1位!

日経リサーチが全国813市区を対象に実施した調査で主要3部門のうち「医療・介護」部門で能美市が全国1位と掲載されました。(日経グローバル)  
「生活支援・予防」部門で24位、「社会参加」部門で18位  
総合で全国5位となり能美市での高齢者施策が高評価されました。

記事では医療と介護の連携で医師会の「メモリーケアネットワーク能美」や地域包括ケアの市民活動として認定NPO法人「えんがわ」の活動が評価されました。このほか県内では、総合評価小松市が15位、加賀市が48位、金沢市が78位と、石川県内では4市が総合100位以内に入りました。



## 平成27年度3月議会 一般質問(3月11日)

### 質 特色ある今後の地方創生の取組みについて

新年度国では地方創生に力を入れていく方針を強く打ち出しており、「まち・ひと・しごと創生事業費」を新設し、地方創生で自治体の取組みを後押しすると報じられています。各自治体は「地方人口ビジョン」「地方総合戦略」をつくる事となっており地方公共団体を含め、産業界・官公庁・学校教育機関・金融機関・労働団体・メディア、女性、若者、高齢者などあらゆる人の協力・参画を促し「地方の特性に即した地域課題の解決」「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」などを進めるとあります。

「地方が自立につながる様、自ら考え責任を持って戦略を実行」と国の支援があると同時に地方自治体にも大変大きな責任を与えられたと感じます。全国の各自治体がそれぞれ特色ある取組みを打ち出していくと考えられる。

### ●能美市では今後どのような市の特色を出し地方創生の取組みを推進していくのか

#### 答 酒井 悌次郎 市長

●能美市の有力な地域資源として北陸先端科学技術大学院大学があり、能美市地方創生の協議会等の会議に入って戴きたい思いである。他自治体と同じようなプランとならない様、市職員全体が一丸となって能美市なりの地方創生総合戦略をつくっていきたい。

### 質 学力・心の教育・生きる力について今後の方針は

県の学力テスト成績発表をうけ保護者の間から「学力向上の取組みはありがたいが、学力偏重の流れになるのが怖い」などの声を多くお聞きしました。小中学校の義務教育での基礎学力の習得は大変重要ではありますが、**現在の子どもは社会の変化による重圧が大きく、プレッシャーに弱く社会に出てからの「生きる力」が弱いと言われています。**この力を育てていくのも、この義務教育の年頃であると言われていきます。高学力で社会に出て人も仕事への対応能力が小さく、仕事を辞めてしまったり精神的につぶされてしまう「打たれ弱く悩んでいる若者」が多くいるとの事です。

平成25年雇用動向調査結果でも若者の離職率が高く20～24歳で24%、19歳以下では34%で、辞めた理由として「仕事に興味を持ってない」「職場の人間関係」とあります。

**国でも人と人のつながりの大切さを重視した道徳教育を推進する方針を固めています。**

平成27年4月から教育委員会制度も変わり、市長・教育長責任も明確化され、教育の基本的な方針も市長と教育委員会が協議し進めていく事になります。**生きるための一人一人の力を伸ばし一人一人の幸せを考えていくような教育が必要と考えます。**

本年、学校と地域をつなぐ地域コーディネーターを育てる新事業が始まった、地域ぐるみで子どもを育てていくことを進めて欲しい。

### ●学校教育での学力・心の教育・生きる力について市の今後の教育方針を問う

#### 答 中嶋敏一 教育長

学力調査は児童生徒のつまづきを発見し、授業改善を効果的に進めるために有効的に活用することが基本となっております

●過度な学力競争等を引き起こすことの無いように留意し、心の教育については、家庭や地域の教育力に依存する部分も大きく、より一層連携を深める事が大切と考える。

#### 答 酒井 悌次郎 市長

●心の教育、生きる力をどのようにつけていくかは、次世代の能美市民を育てていくために大変大きな行政課題と考える。**能美市の子どもたちは能美市の宝。市民全体の宝としてお互いに育てていく責務があると思う。**



### 質 特別市民制度を定め第1号登録にウルトラマンを

特別市民とは、地方自治体が、その地方自治体の運動に賛同する人物や、その地方自治体に貢献した人物や物などに対して贈るもので、地方自治体が独自に制度として定めているものであり、法的な根拠はありません。ウルトラマンの著作権や会費収入の利用制限などいくつかの課題はあると思いますが、**ウルトラなまちづくり・ウルトラアートなど能美市の観光戦略の後方支援にもなると考えます。**

綾部市の例では、特別市民の方に施設利用の優待・飲食店の割引、広報紙等行政情報やふるさと情報の発信を行っています。特別市民の方には、綾部市の現状を更に知ってもらい、綾部市外に住んでいる方に綾部をPRしてもらおうというものです。「あやべ特別市民」は会費制で、年度会費を1万円。

市外に住んでいる綾部に興味のある人、綾部が大好きな方を対象とし、会員数は平成23年度1,323人平成24年度1,604人、平成25年度1,863人です。同じ観光戦略として名誉観光大使に松井秀喜氏や観光大使にハンディやしきさん・観光特使など5名も委嘱しておりますが、さらなるアピールに

### ●ウルトラマンを特別市民第1号に定めることは出来ないでしょうか。

ふるさと納税にも匹敵する会員登録の**収入を能美市の観光振興に活かし**、さらに市外の会員による**能美市発信のPR**にもなり**定住人口の拡大策**にもなるかと考えます。**ウルトラマンの知名度で全国への情報発信力も大きいと考えます。**

#### 答 酒井 悌次郎 市長

### ●特別市民制度については、今後その適否について勉強していく

能美市ではウルトラマンでのまちづくり事業を展開し成果を上げてきた。大変ユニークな発想であるがバーチャルなものであることや著作権問題もあり、ふるさと納税制度で関東能美市の会の皆様が毎年、定期的に納税をいただいております。このような事情を勘案し整合性も考え適否を勉強していく。

## 市民の声が届いています！

市民の皆様の声を議会や委員会で提案・発言し27年度予算に多くが反映されています

- 能美広域消防施設・人員の拡充
- 防災士養成事業の拡大
- 子育て支援センター相談体制
- 認知症徘徊者捜索事業
- 史跡能美古墳群整備事業
- 加圧給水車の購入（災害時にも対応）
- 寺井新保水道管理センター施設改修
- 農業地域連携事業
- 九谷焼振興事業
- 心の教育推進事業

他、障害者福祉、高齢者福祉、子育て、学校教育、防災、環境など声が届いています！

## 市民の声を市政に活かしています！ 能美市民の力を活かす！

三道山町の壮年団・女性会・PTAの皆さんが「ボーリング大会」を計画し開催！

参加させて頂き、楽しかったです。ご支援に感謝します。（3月21日 大人・子ども 50人参加）



表彰式に宮本周司参議院議員・井出敏朗県議がお見えになるサプライズも！ありがとうございました☆